

ご報告:チリ共和国(非常事態庁) 消防車寄贈事業

平成28年度在チリ日本国大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、チリ共和国国家非常事態庁(以下ONEMI)へ日本の自治体より無償譲渡いただいた起震車を寄贈しました。

車両には元々日本で発生した地震がプログラムされていましたが、寄贈に備え現地チリの地震データへ入れ替えました。

現地到着後2017年10月、寄贈車両のメーカーである飛鳥特装株式会社より技術者1名を派遣いただき、安全な運用と保守管理に関する技術指導を行いました。

<現地写真>

<p>1</p> <p><基本操作></p> <p>操作方法を指導する飛鳥特装株式会社 澁谷太一氏 (左端)</p> <p>参加者は手順を確認しながら熱心にメモを取り、動画におさめるなど積極的に取り組んだ。</p> <p>車両は澁谷氏が約20年前に製造した車両であり、研修に最適な指導員を派遣することができた。</p>	
<p>2</p> <p><保守管理></p> <p>参加者に点検項目とそのやり方を説明する澁谷氏 (中央奥)</p> <p>チリでは日本同様に定期的点検を行う習慣があり、参加者も車両の構造や消耗品類について熟知していたため、確認もスムーズに進んだ。</p>	

<p>3</p> <p><質疑応答・意見交換></p> <p>参加者との意見交換</p> <p>車両の構造や配線、揺れの測定方法や起震車の歴史といった質問が挙げられた。</p> <p>ONEMI では起震車を地方都市へ貸し出すことを計画している。</p>		
<p>4</p> <p><運用練習></p> <p>参加者による運用練習</p> <p>仲間同士で助け合いながら慎重に操作を行い、CDプレイヤーによる音声再生の手順やエラー発生時の対処方法も全て対応できるようになった。</p>		
<p>5</p> <p><お披露目会></p> <p>10月26日 ONEMI 内での体験乗車会</p> <p>在チリ日本国大使館からも倉田 進 一等書記官らが出席した。</p>		

<p>6</p>	<p><お披露目会></p> <p>起震車の再現する大きな揺れに驚くONEMI職員</p> <p>会場からは拍手や笑い声が上がった。</p>	
<p>7</p>	<p><修了式></p> <p>研修を終えた参加者へ修了証書を渡す倉田一等書記官(右)</p>	
<p>8</p>	<p><修了式></p> <p>研修参加者と記念撮影</p> <p>左端からONEMI ヴィクトル・オレリャーナ・アクーニャ副長官、澁谷氏、参加者を挟んで倉田一等書記官。</p> <p>アクーニャ副長官は「これから20年は大切に使います」と感謝の言葉を述べた。</p>	